



令和6年7月12日  
海上保安庁

## JICA 課題別研修(海図作製技術コース)を開講

～ 水路測量の国際認定資格を取得できます! ～

海上保安庁では、令和6年7月16日～12月21日の間、独立行政法人国際協力機構(JICA)と協力し、開発途上国で水路測量に従事する技術者を対象とした海図作製能力向上のための研修を開催します。

本研修を修了した研修員には、水路測量国際B級資格が付与されます。

### 1 研修概要

本研修は、昭和46年から毎年度実施しており(新型コロナウイルス感染症の影響により2回中止)、今年で52回目の開催となります。これまでに45カ国から460名以上の修了生を輩出し、修了生の多くが、帰国後、タイ、フィリピン、マレーシアなどの各国水路当局で要職を務め活躍しています。

海上保安学校学生を対象とした講習を除き、国内で水路測量の国際認定資格\*を取得することができる唯一の研修です。

海上保安庁は、本研修を通じ開発途上国の海図作製能力を向上させることで、世界の航海安全に貢献するとともに、各国との国際的な協力関係の強化にも大きな役割を果たしています。

### 2 日程

令和6年7月16日(火)～令和6年12月21日(土) (詳細は別紙参照)

### 3 研修参加予定者(7カ国9名)

カンボジア1名、インドネシア2名、マダガスカル2名、モザンビーク1名、フィリピン1名、ベトナム1名、シンガポール1名

### 4 主なカリキュラム

- (1) 海図作製に必要な理論と実務に関する講義(測地学、潮汐、水深測量等)
- (2) 海上保安庁測量船による洋上実習
- (3) 海図作製に必要なデータ収集のための港湾測量実習

## ○ 令和6年度の主な研修スケジュール（予定）

実施予定日	実施予定場所	内容
7月19日（金）	海上保安庁海洋情報部	カントリーレポート発表会
10月16日（水）、17日（木）	駿河湾	測量船による洋上実習
11月7日（木）～12月6日（金）	大分県別府港	港湾測量実習
12月20日（金）	JICA 東京センター	閉講式

上記以外の期間は、海上保安庁で主に海図作製に必要な理論及び実務に関する講義を行います。

## ○ 令和5年度に実施した本研修（洋上実習、測量実習）の様子



## ※ 水路測量国際認定資格

水路測量等の国際基準を定める国際委員会（IBSC）が認定した水路測量技術者養成コースの修了者に付与される資格で、国際A級、国際B級の2つがあります。

国際B級は、水路測量を全般にわたり実施可能な実務レベルの技術者の養成を目標としており、全世界で28カ国35コースがあります（令和6年1月時点）。

## 【参考】

## 本研修を修了した各国水路当局要職経験者

研修参加年	名前	役職
1972年	First Admiral Mohd Rasip bin Hassan	元マレーシア水路部長
1981年	Vice Admiral Supote Klangvichit	元タイ水路部長
1983年	Vice Admiral Charin Boonmoh	元タイ水路部長
1985年	Commodore Romeo I. Ho	元フィリピン水路部長
1987年	Rear Admiral Fadzilah Bin Mohd Salleh	元マレーシア水路部長
1990年	Mr. Efren P. Carandang	元フィリピン地図資源情報庁次長
1991年	Rear Admiral Zaaim bin Hasan	元マレーシア水路部長
1992年	Rear Admiral Dato' Hanafiah bin Hassan	現マレーシア水路部長
1994年	Commodore Muhammad Arshad	元パキスタン水路部長
1998年	Mr. Justo Nicholas Lyamura	元タンザニア水路測量部長
2001年	Cdr. Antonio Garcia VALENZUELA, Jr.	元フィリピン水路部長